



# 保健室だより 2月号



平成26年2月5日(水) 矢野中学校保健室

立春を過ぎるとこよみの上では、春。「春は名のみの風の寒さや」と歌われているように、まだまだ寒い日が続きます。しかし、「春」という声を聞くだけでも心が明るくなり、期待に胸が膨らみます。

すっかり葉を落とし、枯れ木のようになった桜の木もよく見ると、枝先に小さな固いつぼみがあります。長い冬の寒さにじっと耐えて、やがて来る春に生命の息吹を开花させる自然の節理に、感動し、また人生を感じる



## 教室の空気検査をしました！

1月22日(水)に、学校薬剤師の天畠真奈美先生が来校され、教室の空気検査を各学年1クラスずつ実施しました。結果をお知らせします。

<1年〇組 33名>

<3年〇組 35名>

日時	1月22日(水) 11:20	1月22日(水) 11:30
二酸化炭素濃度 (空気の汚れ度をあらわす値)	<b>1,800ppm</b> (望ましい値1,500ppm以下)	<b>3,000ppm</b> (望ましい値1,500ppm以下)
室温	21℃	20℃
湿度	60%	55%
ストーブの火力	中	中
教室の換気の状態 	①廊下側の天窓2箇所5~10cm開 ②プール側の窓4ヶ所2~3cm開 ③出入口の引き戸(後方) ④5cm開 <合計7箇所開けていた>	換気はしていない (塗料のような臭いあり)
カーテン	プール側の窓にカーテンが引かれていた。	利用なし

### <天畠先生からの助言>

1年〇組……授業中の換気は、寒くならないように工夫され、よくできています。ストーブの火力を小にしたら、二酸化炭素濃度も望ましい値の1,500ppm以下になると思います。この調子で、がんばってください。

3年〇組……新館は廊下に窓があるため、廊下の窓を1箇所開け、天窓(山側とグラウンド側)を対角線上に2箇所開けるとよい。ストーブの火力は、小まで。

# いつもの環境から望ましい環境へ実験！！

<2年O組 35名>

授業時間	3時間目		休憩時間	4時間目	
検査時間	10:55	11:38	10分休憩	11:50	12:30
二酸化炭素濃度 (空気の汚れ度をあらわす値) 望ましい値 1,500ppm以下	<b>2,500 ppm</b>	<b>2,700 ppm</b>	<b>&lt;換気&gt;</b> <b>① 天窓4隅10cm開けた。</b> <b>② 出入口の2箇所を全開にした。</b> <b>③ 反対側の窓1箇所全開にした。</b>	<b>1,200 ppm</b>	<b>1,300 ppm</b>
室温	18℃	22℃		21℃	18℃
湿度	56%	55%		47%	48%
ストーブ火力	中	小		小	小
換気の状態	換気していない			天窓4隅10cm開	
カーテン	北側カーテン全閉 南側カーテン半分閉		北側カーテン全閉 南側カーテン半分閉		

## <天畠先生からの助言>

- ・ 換気していない状態の3時間目は、授業中の二酸化炭素の濃度は、1,500ppmを越え、汚れていたことがわかります。教室へ入ったときも、ムンとした特有のにおいがありました。休憩時間の換気と4時間目の授業時の天窓四隅の換気で、二酸化炭素濃度が望ましい値におさまっていることがわかります。授業中は、寒い日でも天窓を対角線上に2箇所開けて、換気してください。
- ・ 教室の室温は、18℃くらいがベストです。教室が暖まりすぎたら、ストーブをいったん切るか、火力は小までにしてください。火力を中以上にすると、教室の空気は
- ・ 汚れやすいで、温度計をこまめにしながら、ストーブのたきすぎに中止してください。

教室の空気検査に協力してくれた先生方・生徒の皆さん、ありがとうございました。

昨日から、保健委員会が、教室の換気について放送しています。教室の空気が汚れると、ホコリや浮遊物にウィルスや細菌が付着して感染が広がります。各クラス、協力して換気を行い、風邪やインフルエンザが流行らないように環境を整えていきましょう。

また、そうじ後の休憩時間に、換気のために開けた窓を閉めるよう放送を入れます。戸締りも忘れずにしましょう。

